

各 位

平成 19 年 3 月 14 日

ダイコーホールディングス株式会社

**2007 年レース活動に関してのご報告**  
**～ DHG Racing 全日本 GT 選手権 300 クラスに参戦 ～**

ダイコーホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役会長：神長大、以下 DHG）は、2007 年度全日本 GT 選手権 300 クラスに「DHG Racing」としてエントリー申請し、「DHG ADVAN FORD GT」にて参戦いたします。それに伴い、技術開発及び体制強化のため、自社メンテナンス工場を新たに設立いたしました。

また、同じく全日本 GT 選手権 500 クラスに参戦する「TOYOTA TEAM TOM'S」のレクサス SC430 を関連会社のオープンインタフェース株式会社と共に支援いたします。

フォーミュラーニッポンにおいては、株式会社トムスとモータースポーツ事業において業務提携し、「DHG TOM'S Racing」として 2 台のマシンにて参戦するとともに、モータースポーツ全般の裾野の拡大と、才能ある若者へのスカラシップとして「カート」（マスターズ 4 ストローク）を登竜門に、「FCJ」（フォーミュラー・チャレンジ・ジャパン）から「F3」、そして「Formula Nippon」へと続くドライバーの発掘・育成プログラムを推進して参ります。

DHG はレースフィールドでの技術ノウハウを蓄積し、人材育成をはじめ、オリジナルパーツやコンプリートカーなどの高付加価値な商品を販売することで市場に還元いたします。また、インターネット放送「DOING.TV」(<http://www.doing.tv>) を通じて様々なコンテンツを配信し、モータースポーツの普及と発展に貢献して参ります。

## DHG Racing 2007 年活動計画

### ①全日本 GT 選手権 GT300 クラス

2007 年全日本 GT 選手権 GT300 クラスに米国フォード社製 FORD GT を S-GT レギュレーションに合わせて自社で開発。エンジンは自社開発の 3.5 リッター V8 エンジンを搭載し DHG Racing として参戦。

チーム名 : DHG Racing(ディーエイチジー レーシング)  
マシン名 : DHG ADVAN FORD GT(ディーエイチジー アドバン フォード GT)  
車番 : 55  
エンジン : DHG D35806V  
タイヤ : YOKOHAMA  
ドライバー : 池田 大祐 / 番場 琢  
チームオーナー : 神長 大  
チーム監督 : 神長 大  
テクニカルディレクター : 牧野 成伸

### ②全日本 GT 選手権 GT500 クラス

2007 年全日本 GT 選手権 GT500 クラスには「TOYOTA TEAM TOM'S」のパーソナルスポンサーとして関連会社のオープンインタフェース株式会社と共にレクサス SC430 を支援。

チーム名 : TOYOTA TEAM TOM'S(トヨタ チーム トムズ)  
マシン名 : 宝山 TOM'S SC430(ホウザン トムズ SC430)  
車番 : 1  
エンジン : TOYOTA 3UZ-FE  
タイヤ : BRIDGESTONE  
ドライバー : 脇阪 寿一 / アンドレ・ロッターラー  
チーム監督 : 関谷 正徳

### ③Formula Nippon

フォーミュラ・ニッポンへは「DHG TOM'S Racing」として2台のマシンにより参戦。

「DHG TOM'S Racing」は株式会社トムスとのモータースポーツ事業における業務提携の一環としてレース活動に参戦。

チーム名 : DHG TOM'S Racing(ディーエイチジー トムス レーシング)  
マシン名 : DHG TOM'S FN06(ディーエイチジー トムス FN06)  
車番 : 36、37  
エンジン : TOYOTA  
タイヤ : BRIDGESTONE  
ドライバー : No36 アンドレ・ロッター／No37 ジョニー・リード  
チームオーナー : 神長 大／舘 信秀  
チーム監督 : 舘 信秀

### ④F3

全日本 F3 選手権に参戦する、昨年のチャンピオンチーム「TOM'S」を支援。

### ⑤FCJ (フォーミュラ・チャレンジ・ジャパン)

ステップアップフォーミュラとして今年から新たに始まる FCJ へ DHG スカラシップとしてオーディションで選定したドライバーの参戦を支援。

### ⑥M4 (マスターズ 4 ストローク)

将来、プロのレーシングドライバーになることを目指している若者達へステップアップに役立つ環境とハード&ソフト面で可能な限りのイコールコンディションによるカートレースを運営している M4 を支援。

### ⑦DHG Challenge CUP

誰でも安全で手軽に楽しめるカートを利用した『参加型モータースポーツ』を開催し、一般の方々にも走りの喜びを体験できる場を提供。

**【本件に関するお問合せ先】**

ダイコーホールディングス株式会社

モータースポーツ事業部：添川

TEL : 03-5419-1218

E-mail : soekawa@dhg.co.jp

各 位

平成 19 年 3 月 30 日

ダイコーホールディングス株式会社

**2007 年フォーミュラ・ニッポンドライバーについて  
～ DHG TOM'S Racing ドライバー変更 ～**

ダイコーホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役会長：神長大、以下 DHG）は、2007 年度フォーミュラ・ニッポンに株式会社トムスと共同で「DHG TOM'S Racing」として参戦発表を行い、同時にドライバーの発表を行いました。37 号車に乗車予定だったジョニー・リードに代わり、荒聖治と正式にドライバー契約を行いました。

DHG の活動報告並びに、参戦発表を 3 月 14 日に行いましたが、この度フォーミュラ・ニッポンにおけるドライバーを変更したことをご報告いたします。

DHG TOM'S Racing はジョニー・リードとドライバー契約交渉を行って参りましたが、条件面などで折り合わず、最終的な合意にいたりませんでした。そのため、急きょ別ドライバーの選定を行い、2007 年度全日本 GT 選手権 500 クラスでも活躍中の荒聖治と正式契約を結びました。これにより、36 号車にアンドレ・ロッター、37 号車に荒聖治をドライバーとして迎え、2007 年度フォーミュラ・ニッポンに参戦する運びとなりました。

DHG は今後もモータースポーツ参戦を通じ、業界の発展に貢献して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

< 荒 聖治 >

生年月日：1974 年 5 月 5 日

出身地：千葉県

2004 年度ル・マン 24 時間レースに参戦し、日本人では二人目となる総合優勝を果たす。また、2005 年度から全日本 GT 選手権 500 クラスに参戦し、現在活躍中のドライバー。